



未利用地のある草内工業地域

**工業地域へ企業誘致を
答 課題克服し取組んで行く**

奥西 伊佐男 議員
(一 新会)

■ 草内工業地域の排水困難地対策の進捗と、今後の計画について問う。未利用地も多く、企業誘致には環境整備が不可欠。西側農振地域の地権者への意向調査も含め、企業誘致を積極的に図るべき。

〔市長〕 産業ゾーンとして位置づけ、今後、環境整備等の課題を克服して、工業地の確保に取組んで行く。

〔建設部長〕 排水困難地対策事業は、今秋から第2期工事を実施し、平成30年に完成予定。事業が完了すれば企業進出に寄与できると考えている。周辺が都市計画マスタープランの検討ゾーンであり、将来的には周辺の環境を考慮しながら、産業機能が充実できるか検討していきたい。

■ 一丁田多目的広場の利



JR第二和井田踏切(興戸)

**JR踏切整備の見通しは
答 第一和井田を先に進める**

小林 喜代司 議員
(みらい京田辺)

■ JR片町線の輸送力増強や整備に対し、興戸区からの強い要望として、久保、第一和井田、第二和井田の各踏切を拡幅整備する見通しは。

〔建設部長〕 近鉄興戸駅西口地域を整備する中で、駅前広場や遊歩道などの施設整備とともに取組んでいる。要望のある3つの踏切の優先度について地元区と協議した結果、近鉄興戸駅への主たるアクセス道路となる市道京街道線の第二和井田踏切の拡幅整備を先行して進めることを確認したので、JR西日本に対し要望を行っていききたい。

■ 平成25年の台風18号の大雨が、樋門の排水能力を上回ったため、市内各地で冠水被害が発生した。国が管理する久保田樋門や、田辺の西浜

樋門の整備が必要とされているが、整備の見通しは。

〔市長〕 内水排除は大きな問題であり、久保田樋門、西浜樋門等の整備について、関係機関に要望しているが、簡単にできるものではないため、根気強く、実態等も見ながらしっかりと要望していききたい。

〔建設部長〕 27年に府が大型排水ポンプ車を本市内に配備し、緊急事態に対応できる体制を整えていただいたので、大きな役割を果たしていくものと期待している。しかし、抜本的な対策として、河川改修と排水ポンプを備えた樋門の整備が必要だと考えるので、国土交通省近畿地方整備局や府に対し、今後も機会あるごとに強く要望していききたい。

用状況と、今後の計画を問う。緑園絡みで地元と長年にわたり進められている約束事について、話し合いから始めるとの答弁から進展がない。放置していると誤解される現状にある。今後、どのように当初の計画を進めていくのか。

〔教育部長〕 指定管理者制度導入後は、利用者が増加している。今後の施設計画は、地元のご意見をお聞きして進める必要があると考えている。

■ 高齢者への取り組みとして、高齢者いきいきポイントへの更なる充実施策を望む。達成者を表彰する等、目に見える対策が必要では。

〔健康福祉部長〕 提案に沿って、高齢者の生きがいづくりと、心身の健康への励みになる顕彰を検討していきたい。



消防本部と最新型はしご車

**消防本部の広域化は
答 相互応援協定で対応**

米澤 修司 議員
(みらい京田辺)

■ 消防本部の広域化は。

〔消防長〕 平成21年3月に策定された府消防体制の整備推進計画の中で、広域化について提言があったが、各自治体の合意形成がなく進展しない。現在は、大規模災害等に対し、隣接する消防本部との相互応援協定で対応している。新名神高速道路開通に伴う出動計画や訓練実施計画など、近隣消防本部と協議中で、より迅速、適切な連携活動が図れるよう整備している。

■ 環太平洋経済連携協定による、農業分野と非農業分野における影響は。

〔経済環境部長〕 一般的に農業分野での悪影響として、安価な農作物が流通し、個人農家の衰退、食料自給率の低下が予想される。好影響として、

日本の農作物は信頼性が高く、海外からの需要が伸び、生産を増やすと言われている。農業分野における悪影響対策についての情報は多いが、具体的な影響を想定することは、現時点では困難。非農業分野における影響は、専門家の間でも意見が分かれているところであり、国の責任においてその影響を調査・分析し地域の特性に応じた施策を講じられるべきと考ええる。

■ 異常に繁殖する竹林への対策は。

〔経済環境部長〕 竹林の管理は、所有者が行うのが基本。普賢寺地域の農業では、竹をパウダーにして土壌改良剤として活用している。竹を農業生産に活用される団体に対して、機材購入など支援を行う。



松井地域から見る建設中の新名神高速道路

**文化施設の整備促進は
答 新市街地整備の中で検討**

岡本 茂樹 議員
(一 新会)

■ 文化施設の整備促進は。また、市民の文化活動をどのように保障していくのか。

〔教育部長〕 文化振興計画に沿った質の高い観賞空間や多様な機能を持ち、文化ネットワークの中心となる文化施設を整備したい。市民のニーズに応じた事業を展開するほか、子どもの文化活動を発表する機会を充実したい。

〔企画政策部長〕 府田辺総合庁舎北側での新市街地整備に向け、地元と事業手法等を検討しており、できればそこで複合施設の用地を捻出したい。

■ フリースクールの現状と、市立学校に対する影響は。

〔教育部長〕 市内の2校については、それぞれの教育理念により児童・生徒を募集されている。市としては、児童・

生徒の所在確認や教科書配付等の事務を毎年行っている。

〔教育指導監〕 本市の小中学校に、大きな影響はない。

■ 新名神開通と関連する防賀川改修の進捗状況は。また、松井周辺のまちづくりは。

〔建設部長〕 新名神高速道路の城陽・八幡間は、計画どおり平成28年度末の完成に向け努力されている。府事業の防賀川河川改修工事は、下流側から順次進められている。松井周辺のまちづくりは、プロロシスの建設が進み、第二京阪道路西側で土地区画整理事業の準備組合が設立され、事業認可に向け進められている。

■ JR松井山手駅からJR木津駅までの複線化は。

〔建設部長〕 市長を先頭にJR西日本に強く要望している。